

人口問題研究所  
研究資料第74號  
昭和26年12月1日

貸  
出  
用

和歌山縣下における産兒制限實態調査結果の概要

厚生省 人口問題研究所

## は し が き

本研究所では昭和二十六年八月和歌山県下で同県当局との協力下に産児制限実態調査を施行したが、この資料は同県の衛生部医務課によつて早急に集計された結果概要である。更に詳しい分析は今後に行われるが、一応の中間報告としてここに集録する次第である。但し記述の文章は特に数字の解釈に関する部分で多少訂正したところがある。

昭和二十六年十二月一日

人 口 問 題 研 究 所

## まえがき

この調査は、厚生結婚相談所の運営参考資料とするために、またひいては我が国における今後の人口問題とその政策に寄与するために調査したものである。

特に講和会議の終了と共に講和後の日本の大きな話題の一つとして移民問題と共にこの産児制限の問題が浮かび上つてきた。本年八月二十九日人口問題研究会が人口白書を発表した。それによると昭和四十年に日本人口が一億に達するといわれている。

今後の独立新日本建設とあいまつて、せまい領土問題と共にますますこれ等の問題が私たち一人一人の日々の生活問題ともなつて目前にせまりくるものでなかろうか。

本書はせめてこれ等の問題の一端でも見出すことが出来、また現在この問題かどのように一般家庭において考えているかを調査の結果によつて、ここに簡単にまとめてみたものである。

なお、この集計については厚生省人口問題研究所の指導のもとに行い発表するものである。

## 調査した地区

調査地区は都邑別調査とし、田辺保健所において、その管内で調査するにふさわしい地区を

都市として田辺市の東部

農村として西牟婁郡朝来村

山村として西牟婁郡長野村

漁村として西牟婁南富田村

を選び調査地区として指定したものである。

## 調査した月日

調査した日は、その地区において適宜に日を選んで実施したものであ

る。

都市は、昭和二十六年八月十三、十六、十七日

農村は、          〃          八月十九、二十日

山村は、          〃          八月十五、十八日

漁村は、          〃          八月十六、十八日

調査対象者は、その地区に在住するもので妻の年齢が15才より49才までの夫婦全員とした。但し都市においては都市にふさわしい地区を選定しその地区に在住するものだけとして調査した。

### 調査の対象者

| 調査地区                  | 調査対象・夫婦数 |
|-----------------------|----------|
| 都市 (田辺市 東部)           | 300      |
| 農村 (西牟婁郡朝来村)          | 200      |
| 山村 (          〃 長野村)  | 267      |
| 漁村 (          〃 南富田村) | 212      |
| (計)                   | 979      |

### 調査方法

調査に当つては調査員が出産歴調査票を被調査者に配布し、調査事項を説明して記載をたのみ、大体一日後調査票を回収に行き、回収に際しては被調査において添付の封筒に調査票を封せしめ、各個人の記入事項を忘れぬように充分努めて実施した。

(1) 産児制限実態調査総合結果成績

| 事項別<br>都 邑 別 | (A)    | (B)            | (C)         | (D)         | (E)            | (F)                    | (G)           | (H)            | (I) |     | (J) |     |             |
|--------------|--------|----------------|-------------|-------------|----------------|------------------------|---------------|----------------|-----|-----|-----|-----|-------------|
|              | 調査票配布数 | 調査票提出しなかつたものの数 | 調査票提出したものの数 | 白紙で提出したものの数 | 出生歴のみ記入し避姓の有無数 | 同上、但し将来の希望について記入したものの数 | 避姓を実行しているものの数 | 避姓を全然していないものの数 | 夫   | 妻   | 夫   | 妻   | 計           |
| 都 市          | 300    | 14             | (95)<br>286 | 35          | 45             | 37                     | (15)<br>42    | (44)<br>127    | 95  | 96  | 46  | 46  | (16)<br>92  |
| 農 村          | 200    | 11             | (95)<br>189 | 6           | 11             | 16                     | (17)<br>32    | (66)<br>124    | 111 | 109 | 53  | 31  | (17)<br>64  |
| 山 村          | 267    | 12             | (96)<br>255 | 19          | 43             | 47                     | (11)<br>29    | (46)<br>117    | 78  | 76  | 40  | 41  | (16)<br>81  |
| 漁 村          | 212    | 23             | (89)<br>189 | 12          | 34             | 19                     | (20)<br>38    | (46)<br>86     | 58  | 63  | 30  | 27  | (15)<br>57  |
| (計)          | 979    | (6)<br>60      | (94)<br>919 | (8)<br>72   | (14)<br>133    | (13)<br>119            | (15)<br>141   | (50)<br>454    | 542 | 344 | 149 | 145 | (16)<br>294 |

註1 (B)(C)の括弧内の数字は(A)に対する百分率を示し(D)(E)(F)(G)(H)(I)(J)の括弧内の数字は夫々(C)に  
対する百分率を示す。

別掲の綜合成績表によると、先づ調査票の回収率は甚だ良好であつた。だが白紙のもの、半分しか記入していないもの、避妊をやっているか否かの所だけを記入していないもの等を合せて全体の、35%もあつた。

これらのものは、一体如何なる理由で記入しなかつたか、又提出しなかつたか。その理由及びこれらの調査票未提着の調査に対する意見をみると第1表の通りである。

(第一表) (イ) 調査表を提出しなかつた理由

| 理 由 別             | 実 数 | %    |
|-------------------|-----|------|
| 解らないから            | 1   | 1    |
| 難かしいから            | 7   | 8    |
| 面倒だから             | 44  | 48   |
| 興味がないから           | 16  | 17   |
| この種の調査をされるのが嫌いだから | 3   | 3    |
| 正直にかけないから         | 0   | 0    |
| その他の理由            | 4   | 4    |
| 紛失したので            | 17  | 19   |
| (計)               | 92  | 100% |

(ロ) 調査に対する意見

| 意 見 別           | 実 数 | %    |
|-----------------|-----|------|
| 調査しても意味がない      | 16  | 38   |
| このような調査はやるべきでない | 6   | 14   |
| その他             | 20  | 48   |
| (計)             | 42  | 100% |

調査表を提出しなかつた理由としては「面倒だから」と云うものが一番多く48%となつているのは産児調節が現在直接切実な問題となつていないことを物語るものだろうか。又調査に対する意見としては「調査しても意味がない」と云うものが38%となつているが従来よりこの種の調査はややもすれば、單なる調査に終つてしまうものが多かつた故

であるう

(2) 避妊を執行しているもの

第二表 避妊を執行しているもの

| 都邑別 | 調査票を提出したものの総数 | 実行しているもの>数 |      |
|-----|---------------|------------|------|
|     |               | 実数         | %    |
| 都市  | 286           | 42         | 14.7 |
| 農村  | 189           | 32         | 16.9 |
| 山村  | 255           | 29         | 11.4 |
| 漁村  | 189           | 38         | 20.1 |
| (計) | 919           | 141        | 15.3 |

第2表にみるように避妊を執行しているものは大体15%というところが出る。漁村が20%で最高率で次に農村、都市、山村の順となつてゐる。都市の実行率の低いのが意外であるが、後の第8表で見られるように不実行者の割合は都市において最も多い。即ち、実行不実行の不明な票が都市においては実行者に多いのではないかと想像させる。

避妊を執行した理由

(第三表) 避妊をしてゐる理由

(イ) 各地区を理由別にみたもの

| 都邑別 | 経済上の心配から |       | 母体の健康が気になるから |       | もつとよい生活をしたいから |       | その他 |       |
|-----|----------|-------|--------------|-------|---------------|-------|-----|-------|
|     | 実数       | %     | 実数           | %     | 実数            | %     | 実数  | %     |
| 都市  | 23       | 25.3  | 15           | 30.6  | 13            | 22.4  | 7   | 31.8  |
| 農村  | 22       | 24.1  | 9            | 18.4  | 14            | 24.1  | 8   | 36.4  |
| 山村  | 23       | 25.3  | 9            | 18.4  | 15            | 25.9  | 6   | 27.3  |
| 漁村  | 23       | 25.3  | 16           | 32.6  | 16            | 27.6  | 1   | 4.5   |
| (計) | 91       | 100.0 | 49           | 100.0 | 58            | 100.0 | 22  | 100.0 |

(ロ) 各理由を都邑別にみたもの

| 理由別          | (総計) |      | 都 市 |      | 農 村 |      | 山 村 |      | 漁 村 |      |
|--------------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|
|              | 実数   | %    | 実数  | %    | 実数  | %    | 実数  | %    | 実数  | %    |
| 経済上の心配から     | 91   | 41.4 | 23  | 39.7 | 22  | 41.5 | 23  | 43.4 | 23  | 41.1 |
| 母体の健康が気になるから | 49   | 22.2 | 15  | 25.9 | 9   | 17.0 | 9   | 17.0 | 16  | 28.6 |
| もっとよい生活をしたから | 58   | 26.4 | 13  | 22.4 | 14  | 26.4 | 15  | 28.3 | 16  | 28.6 |
| その他          | 22   | 10.0 | 7   | 12.0 | 8   | 15.1 | 6   | 11.3 | 1   | 1.7  |
| (計)          | 220  | 100  | 58  | 100  | 53  | 100  | 53  | 100  | 56  | 100  |

(註) この面に対し二の理由を記載したものが多かった。よつて第二表の実数と第三表の実数とは合わない

第三表にみるみるとおり「経済上の心配から」避妊を実行したというものは、都市、農村、漁村を通じてほぼ同程度で「母体の健康が気になるから」というのが漁村、山村、農村、都市の順となつていゝのが発見される。

都市と漁村では「経済上」「母体の健康」「良い生活」「その他」と同様な順になつていゝが、農村、山村では「経済上」の次に「良い生活」と云う理由が多くなつていゝ。

又「その他の理由」(実数22)のうち「子供は少い方が国のためになると思つたから」と云うのが(実数11)(50%)あつた。

## 避妊実行の程度

(第四表) 避妊実行の程度

(1) 各事項を都邑別にみたもの

| 事 項 別                  | (総数) |     | 都市 |     | 農村 |     | 山村 |     | 漁村 |     |
|------------------------|------|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
|                        | 実数   | %   | 実数 | %   | 実数 | %   | 実数 | %   | 実数 | %   |
| たえず規則的に実施してゐる          | 67   | 69  | 20 | 71  | 21 | 75  | 9  | 75  | 17 | 57  |
| 実行したりしなかつたり非常にきまぐれである。 | 16   | 16  | 1  | 4   | 3  | 11  | 3  | 25  | 9  | 30  |
| 子供を産むために一時実行を中止した。     | 15   | 15  | 7  | 25  | 4  | 14  |    |     | 4  | 13  |
| (計)                    | 98   | 100 | 28 | 100 | 28 | 100 | 12 | 100 | 30 | 100 |



(ロ) 各地区を事項別に見たもの

| 都邑別 | たえず規則的に実行している |     | 実行したりしなかつたり非常に気まぐれである |     | 子供を生むため一時中止した |     |
|-----|---------------|-----|-----------------------|-----|---------------|-----|
|     | 実数            | %   | 実数                    | %   | 実数            | %   |
| 都市  | 20            | 30  | 1                     | 6   | 7             | 46  |
| 農村  | 21            | 31  | 3                     | 19  | 4             | 27  |
| 山村  | 9             | 14  | 3                     | 19  |               |     |
| 漁村  | 17            | 25  | 9                     | 56  | 4             | 27  |
| (計) | 67            | 100 | 16                    | 100 | 15            | 100 |

第4表にみるとおり「たえず規則的に実行している」ものが、都市、農、山、漁村を通じて大半をしめ「子供を生むため一時実行を中止した」という、いわゆる計画的な出産間隔の延長につとめているものは15%もあり都市においてはその率が最も高い。漁村においては「実行したりしなかつたり非常に気まぐれである」というものが多くなっている。

実行している避妊法

(第五表) 実際行っている避妊法

| 避妊法別        | (総数) |      | 都市<br>実数 | 農村<br>実数 | 山村<br>実数 | 漁村<br>実数 |
|-------------|------|------|----------|----------|----------|----------|
|             | 実数   | %    |          |          |          |          |
| コンドーム       | 33   | 39.3 | 12       | 9        | 8        | 4        |
| コンドームと避妊薬   | 3    | 3.6  |          | 2        | 1        |          |
| ベツサリー       | 5    | 6.0  | 1        | 1        |          | 3        |
| ベツサリーと避妊薬   | 1    | 1.2  |          |          |          | 1        |
| 定期禁欲法(新野氏法) | 16   | 19.0 | 8        | 2        |          | 6        |
| 定期禁欲法と避妊薬   | 2    | 2.4  |          | 1        | 1        |          |
| 避妊薬         | 19   | 22.5 | 4        | 9        | 2        | 4        |
| 中絶法         | 2    | 2.4  | 1        |          |          | 1        |
| 喇叭管結紮       | 1    | 1.2  |          | 1        |          |          |
| 別居          | 1    | 1.2  |          | 1        |          |          |
| 性関係をさけた     | 1    | 1.2  |          | 1        |          |          |
| (計)         | 84   | 100  | 26       | 27       | 12       | 19       |

第5表のとおり、コンドームの使用は39%で最も多く、次は避妊薬の

使用、定期禁欲、ベッサリーという順になっている。

Condom を使用しているものの意見をみると「使用が簡単で費用が低廉であるから」使用したと云うものが多く、萩野氏法については「二人の話し合いで手軽に出産最適と思つたから」との意見があつた。最も完全な避妊法は萩野氏法を考えながら Condom と避妊薬の併用だといわれているがこの方法を実行しているものはごく僅かのように見受けられた。

次に避妊実行の結果をみると成功したと云うものが78%、失敗したものの7%、不明15%となつて居り、避妊を失敗したもので「そのまま子供を出産した」もの7件「子供を人工流産した」いうものが12件となつている。

避妊を実行しているもので「避妊を実行して何か障害が起きたか」の問に対しては第6表のような結果である。

(第6表) 避妊の実行による障害の有無

| 事 項        | 総 計 |      | 都市 | 農村 | 山村 | 漁村 |
|------------|-----|------|----|----|----|----|
|            | 実数  | %    | 実数 | 実数 | 実数 | 実数 |
| 起きない       | 87  | 79.1 | 27 | 21 | 13 | 26 |
| 災症或いは傷を生じた | 3   | 2.7  | 1  | 1  |    | 1  |
| 実行の時苦痛を伴つた | 3   | 2.7  | 1  | 1  |    | 1  |
| 性生活を不満を生じた | 17  | 15.5 | 3  | 3  | 6  | 3  |
| その他        |     |      |    |    |    |    |
| (計)        | 110 | 100  | 32 | 26 | 19 | 33 |

避妊を実行しても大半は何もおきないと云つて居るが「性生活に不満を生じた」と云うものが17件もある。但しこれらのものは、萩野氏法又は一部であるが、中絶法、生活に困るから別居した、生活に困るから性関係をさけたと云うもの等の意見であらうと思われる。

次に避妊を実行しているものが「何処から避妊の知識を得たか」の問に対しては第7表のような結果をえた。

(第七表) 避妊の知識を得たもの

|     | (総計) |     | 都市 | 農村 | 山村 | 漁村 |
|-----|------|-----|----|----|----|----|
|     | 実数   | %   | 実数 | 実数 | 実数 | 実数 |
| 書籍  | 72   | 52  | 21 | 18 | 11 | 22 |
| 新聞  | 20   | 14  | 7  | 6  | 3  | 4  |
| 知人  | 19   | 13  | 7  | 4  | 6  | 2  |
| 医師  | 19   | 13  | 4  | 7  | 2  | 6  |
| 助産婦 | 3    | 2   | 1  | 1  | 1  |    |
| 近親  | 4    | 3   | 1  | 1  | 1  | 1  |
| その他 | 4    | 3   | 1  | 1  | 1  | 1  |
| (計) | 141  | 100 | 42 | 38 | 25 | 36 |

医師や助産婦等の専門家の指導によるものは極めて少なく、書籍や新聞によるものが多くなっている。新聞より知り得たと云うのは多分避妊の広告によるものではないかと思われ、なお避妊実行に際して医師や専門家の指導を受けたというものは僅か13%で受けずに実行したというものが大部分で87%となつてゐる。

(3) 避妊を全然していないもの

(第八表) 避妊をしていないもの

| 都邑別 | 調査票提出したもの総数 |   | 避妊を全然していないもの |      |
|-----|-------------|---|--------------|------|
|     | 実数          | % | 実数           | %    |
| 都市  | 286         |   | 127          | 44.4 |
| 農村  | 189         |   | 125          | 66.1 |
| 山村  | 255         |   | 117          | 45.8 |
| 漁村  | 189         |   | 86           | 45.5 |
| 計   | 919         |   | 455          | 49.5 |

第8表を見ると農村が一番避妊をしていないことになつてゐる。上掲第二表の避妊実行率では農村が漁村の次に高い実行率をしめしていた。この相違は実行不実行の不明な票が農村に一番にすくないためである。

## 避妊のしなかつた理由

第9表 避妊をしなかつた理由

| 理 由 別                           | 総 計 |      | 都市<br>実数 | 農村<br>実数 | 山村<br>実数 | 漁村<br>実数 |
|---------------------------------|-----|------|----------|----------|----------|----------|
|                                 | 実数  | %    |          |          |          |          |
| そういう事を全然考えた事もなかつた               | 170 | 31.3 | 39       | 60       | 41       | 30       |
| 考えてはいたが進んで実行する程の持力に及ばなかつた       | 103 | 19.0 | 39       | 29       | 24       | 11       |
| 実行はしたかつたが                       | 7   | 1.3  | 2        | 3        | 2        |          |
| （実行の方法がよくわからなかつたから              | 21  | 3.9  | 6        | 6        | 6        | 3        |
| 器具薬品等を手に入れる事が出来なかつたから           | 11  | 2.0  | 2        | 4        | 5        |          |
| 器具薬品が高くて買うことが出来なかつたから           | 13  | 2.4  |          | 7        | 6        |          |
| 子供が生れる心配がなかつたから                 | 11  | 2.0  | 4        | 1        | 2        | 4        |
| 子供がもつと欲しいから                     | 64  | 11.8 | 14       | 17       | 17       | 16       |
| （男の子がもつと欲しいから                   | 55  | 10.1 | 18       | 11       | 13       | 13       |
| （女の子がもつと欲しいから                   | 24  | 4.4  | 3        | 4        | 11       | 6        |
| そういう事をするのは嫌いだから<br>或は悪い事だと思つたから | 38  | 7.0  | 12       | 5        | 15       | 6        |
| そ の 他                           | 26  | 4.8  | 5        | 4        | 10       | 7        |
| (計)                             | 543 | 100  | 144      | 151      | 152      | 96       |

第9表によると、避妊をしていないもののうち31.3%はこんなことは考えたこともないと言うのであるから、これらのものはこれらのことに対して無関心派だと言える。又、男の子が欲しいからというものが10%女の子が欲しいからというものが4%となつているのが面白い。

その他の理由の中には「産めよ増やせよの国策であつたから」というものが(10件)「宗教的に悪いと思つたから」というものが(1件)あつた。

実行はしたかつたが器具薬品などを手に入れることが出来なかつたから、又、高くて買うことが出来なかつたからと言うのが農村、山村に多少見受けられたが漁村においては、一件もなかつた。

### (4) 将来避妊を実行したいか、したくないかについて

(第十表) 今後の実行不実行の希望について

| 夫婦別 | 事項別     | 実数  | %    |
|-----|---------|-----|------|
| 夫   | 実行したい   | 342 | 69.7 |
|     | 〃 したくない | 149 | 30.3 |
| 妻   | 〃 したい   | 344 | 70.3 |
|     | 〃 したくない | 145 | 29.7 |

第10表によると将来引きつづいて乃至将来は新しく実行したいというものが夫婦ともに70%前後で大半である。

(第十一表) 避妊実行有無よりみたもの

| 夫婦別 | 事項別      | 現在実行しているもの |      | 現在実行していないもの |      | 実行しているともい<br>ないともいぬもの |      |
|-----|----------|------------|------|-------------|------|-----------------------|------|
|     |          | 実数         | %    | 実数          | %    | 実数                    | %    |
| 夫   | 将来も実行したい | 106        | 93.8 | 199         | 62.2 | 37                    | 63.8 |
|     | 〃 したくない  | 7          | 6.2  | 121         | 37.8 | 21                    | 36.2 |
| 妻   | 将来も実行したい | 106        | 94.6 | 201         | 63.0 | 37                    | 63.8 |
|     | 〃 したくない  | 6          | 5.4  | 118         | 37.0 | 21                    | 36.2 |

また第11表によると、現在避妊を実行しているものでは将来も実行したいというものが大部分で夫婦共に93%前後で、避妊をしていないもの、又しているともいぬとも答えていないもの等では、将来は実行したいと云うもの夫婦共に63%前後で、将来の産児制限問題に対して相当にあかるい希望をもたせる結果をいしめしている

(第十二表) 将来実行したい、したくないかを都邑別にみたもの

| 夫婦別 | 事項別     | 都市 |      | 農村  |      | 山村 |      | 漁村 |      |
|-----|---------|----|------|-----|------|----|------|----|------|
|     |         | 実数 | %    | 実数  | %    | 実数 | %    | 実数 | %    |
| 夫   | 実行したい   | 95 | 67.4 | 111 | 77.1 | 78 | 66.1 | 58 | 65.9 |
|     | 〃 したくない | 46 | 32.6 | 33  | 22.9 | 40 | 33.9 | 30 | 34.1 |
| 妻   | 〃 したい   | 96 | 67.6 | 109 | 77.9 | 76 | 65.0 | 63 | 70.0 |
|     | 〃 したくない | 46 | 32.4 | 31  | 22.1 | 41 | 35.0 | 27 | 30.0 |

さらに第12表によると将来の実行希望者は農村が夫婦共に最行率をし

めしている。

(5) 理想的な子供の数

(第十三表) 理想的だと云う子供の数

| 夫婦別 | 子供の性別 | 理想的だと云う子供の数 | 実数  | %    |
|-----|-------|-------------|-----|------|
| 夫   | 男     | 一人というもの     | 85  | 14.4 |
|     |       | 二           | 423 | 71.8 |
|     |       | 三           | 69  | 11.7 |
|     |       | 四           | 7   | 1.2  |
|     |       | 五           | 4   | 0.7  |
|     |       | 六           | 1   | 0.2  |
|     | 女     | 一人というもの     | 283 | 50.0 |
|     |       | 二           | 246 | 43.5 |
|     |       | 三           | 30  | 5.3  |
|     |       | 四           | 5   | 0.8  |
|     |       | 五           | 2   | 0.4  |
|     |       | 六           |     |      |
| 妻   | 男     | 一人というもの     | 113 | 19.6 |
|     |       | 二           | 398 | 68.9 |
|     |       | 三           | 62  | 10.7 |
|     |       | 四           | 2   | 0.3  |
|     |       | 五           | 3   | 0.5  |
|     |       | 六           |     |      |
|     | 女     | 一人というもの     | 249 | 43.8 |
|     |       | 二           | 278 | 48.9 |
|     |       | 三           | 32  | 5.7  |
|     |       | 四           | 5   | 0.9  |
|     |       | 五           | 4   | 0.7  |
|     |       | 六           |     |      |

第13表をみると各家庭での理想的な子供の数として望んでいるのは夫の方では男の子2人女の子1人となつて居り、妻の方では男の子2人女の子2人を望んでいるが、これら理想的な子供の数を都邑別にみても男の子についてはほぼ同じであるが、女の子の希望数は多少ちがい農村の夫では女の2人と云うものが多く、都市の妻では女の子1人と云うものが多くなつている。

(6) 夫婦生活について

「あなた方は夫妻の間で夫婦生活をもつと楽しくするためにまた子供の数を適当に調節するために、そのよしあしや方法などについて話しあつたことがありますか」の問に対しては第14表のような結果をえた。

(第十回表) 夫婦生活について話し合ったもの  
 (イ) 避妊実行の有無より見たもの

| 事項別                  | 現在避妊を実行しているもの |       | 現在避妊を実行していないもの |       | 現在避妊を実行しているとしてもしていないと答えているもの |       |
|----------------------|---------------|-------|----------------|-------|------------------------------|-------|
|                      | 実数            | %     | 実数             | %     | 実数                           | %     |
| 話し合ったことがある           | 107           | 93.0  | 197            | 49.4  | 48                           | 55.8  |
| 話し合ったことがない           | 7             | 6.1   | 185            | 46.4  | 34                           | 39.5  |
| 話し合いたいと思うが<br>切り出せない | 1             | 0.9   | 17             | 4.2   | 4                            | 4.7   |
| (計)                  | 115           | 100.0 | 399            | 100.0 | 86                           | 100.0 |

(ロ) 都邑別にみたもの

| 事項別                     | 総数  |      | 都市  |      | 農村  |      | 山村  |      | 漁村  |      |
|-------------------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|
|                         | 実数  | %    | 実数  | %    | 実数  | %    | 実数  | %    | 実数  | %    |
| 話し合ったことがある              | 352 | 58.7 | 103 | 61.7 | 95  | 60.1 | 81  | 50.9 | 73  | 62.9 |
| 話し合ったことがない              | 226 | 37.7 | 58  | 34.7 | 59  | 37.3 | 68  | 42.8 | 41  | 35.3 |
| 話し合いたいと思っ<br>ているがきりだせない | 22  | 3.6  | 6   | 3.6  | 4   | 2.6  | 10  | 6.3  | 2   | 1.8  |
| 計                       | 600 | 100  | 167 | 100  | 158 | 100  | 159 | 100  | 116 | 100  |

即ち避妊を実行しているものでは、話し合ったことがあると云うものが93%となっており、避妊をしていないものでは話し合ったことがあると云うものかないと云うものとはほぼ同率である。都邑別にみても各地区とも同じようであるが、山村では話し合ったことがないというものが他の地区よりやや多いようである。総計を見ると話し合ったことがないというものが37%を示している。